

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2023年3月13日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、生産の増勢に鈍さがみられるものの、基調としては持ち直している。

すなわち、設備投資は高水準で推移している。個人消費は緩やかに持ち直している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は持ち直しの動きが一服している。こうした中、企業の生産は増勢が鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は改善に向かいつつある。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、高水準で推移している。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2022年度は、前年を下回る計画ながら高水準となっている。

個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店の売上は、緩やかに持ち直している。

乗用車販売は、振れを伴いつつも、緩やかに持ち直している。

主要観光地の入込客数（22/11～23/1月）は、天候不順の影響が一部でみられたものの、全体としては引き続き持ち直した。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資は、持ち直しの動きが一服している。

- 企業の生産は、増勢が鈍化している。

化学は、緩やかに増加している。パルプ・紙・紙加工品は、持ち直しの動きがみられる。はん用・生産用機械は、増勢が鈍化している。金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械、食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は改善に向かいつつある。

- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、3%台前半のプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（1月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。

貸出約定平均金利（1月）は、前月から横ばいとなった。

- 預金（1月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上